

北九州憲法ネットニュース

2006年2月1日(火) 第9号

発行 憲法をまもる北九州市民ネットワーク

802-0841 北九州市小倉南区北方4丁目1番15-701号

TEL & fax 922-4014 E-mail⇒mail@kitaq-kenpou.net

URL⇒http://kitaq-kenpou.net/

渡辺治憲法講演会、750名の参加で成功

1月15日に開かれた「1・15渡辺治憲法講演会」(「成功させる会」主催)は入場者が750名となり、会場のウエル戸畑大ホールをほぼ埋める盛況となりました。

集約されたアンケート用紙に記載された感想文には「社会の流れが、時代の関連でよくわかった」「九条の生きた力に確信が持て、力がわきました」と、渡辺講演に高い評価が与えられました。この講演の内容をもっと多くの市民に知ってもらふことの必要も感想文に記載されています。

「成功させる会」では、30日に総括の会議をもちますが、ビデオやDVDにした渡辺



会場はほぼ満員。熱心に聴く参加者



講演する渡辺治教授

講演会の中身の普及に取り組むことになるでしょう。「成功させる会」では、講演会資料代の清算業務に入っています。皆様のご協力をお願いします。

*講演会の模様は憲法ネットのホームページで聴くことができます。アドレスは

⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

2月から、連続憲法講座を再開します

昨年5回にわたって開催された憲法連続講座は大変好評で、再開を求める声が多数事務局に寄せられていましたが、今回弁護士講師団の全面のご協力によって再開することができました。

すでに3回の日程とテーマ、講師が決まりました。日程は毎月第4木曜日です。ご日程、テーマ、講師は次のとおりです。

- 2月23日(木)「輝け、私達の日本国憲法～その誕生と目的(仮題)」

講師 平山博久弁護士(北九州第一法律事務所)

- 3月23日(木)「国民投票法と憲法改正(仮題)」講師安部千春弁護士(黒崎合同法律事務所)
- 5月25日(木)「憲法の基本原理と

日本の歩み(仮題)」講師小川威亜弁護士(小倉南法律事務所)

会場と時間は、いずれも ウエルとばた多目的ホール 18時30から。資料代が500円必要です。ご期待ください。

平和、憲法・地域の動き

◎ 戸畑で、地域の「会」が動き出す

1月13日に「戸畑九条の会」が中心となっている、「集い実行委員会」が開かれました。12月に開催した「集い」の総括と、構成団体の活動報告が行われました。

この中で、「九州工業大学九条の会」の立ち上げが西垣工大教授より報告されました。また、「戸畑けんわ病院九条の会」が1月25日に発足する予定であること、これとは別に「ふれあい薬局九条の会」がすでに発

足し、病院内で東敦子弁護士(黒崎合同法律事務所)の記念講演も予定(1月26日)しています。神野訓重戸畑九条の会事務局長は「改憲勢力に打ち勝つ為、戸畑でも網の目の“九条の会”の組織化を」と決意を語っています。

戸畑九条の会は1月14日に毎月1回の定例街頭宣伝を行い、冷え込みの厳しい駅前で64筆の憲法署名を集めました

◎ 小倉南区で「322号沿いの会」が立ち上げ準備

小倉南区の国道322線沿いの地域に「九条の会」が結成されようとしています。1月21日に結成の為の準備会が開かれ、2月26日(日)13時30分、山手会館

で結成総会を開く予定です。記念講演には小川威亜弁護士が招かれます。



6月10日に東京で全国の交流集会

分野別「会」の交流会開く

「九条の会」と「九条の会アピール」を支持する分野別の「会」の2回目の交流・懇談会が1月18日開かれ、14の分野別の「会」などから26人が参加しました。

交流・懇談会では、それぞれの「会」のこの間の運動や今後の予定、当面している課題等について報告、交流しました。また、「九条の会」事務局から、昨年の有明講演会でよびかけた全国の地域・分野別の「会」の交流会を6月10日に開きたいとの提起があり、参加方法や交流集会の運営等の実施要綱を早急にまとめることを確認しました。

交流・懇談会の報告から

音楽・九条の会 音楽の専門家と愛好家を対象に、当面1万人をめざしている。いま本部は大阪にあるが、東京にも「会」をつくりたい。1月22日には大阪でコンサートを開くが、今後は9の

日に連続コンサートを開催することなどを考えている。

九条の会・医療者の会 9条と合わせて25条も重視しているのので、去年の9月25日に新聞に意見広告を出したが、今後毎年出していきたい。これまでの賛同人は2350人だが、北海道、宮城、愛知など地方レベルも「会」が広がっている。大学人関係や第一線の医師等にさらにはたらきかける。

映画人九条の会 昨年12月に結成1周年記念集会を開き賛同映画人6人のリレートークをした。会員は1200人を超えた。日本映画が自由でなかった時代の映画を掘り起こして鑑賞する運動などにも取り組んでいきたい。

マスコミ九条の会 当初の会員はOBが多かったが現役の入会者が増えてきている。2カ月に1回ぐらいのテンポで学習会や集会を考えており、1月は、今のマスコミのあり方について、現役、OB、学者、視聴者による徹底討論の集会を計画している。所沢の会は毎月9日に駅頭宣伝をしている。

宗教者九条の和 仏教、キリスト教その他の宗教の賛同者が1500人を超えた。まだ賛同のない大きな教団との懇談・要請を広げたい。宗教関係の新聞・雑誌への意見広告も計画し、宗教間の垣根を低くしたい。昨年11月に1周年のシンポと平和巡礼を行ったが、今年は5月に京都で実施したい。(九条の会ニュース第62号1月19日から)

…今後の日程…

- 1月24日(火) 18時30分 於 旧北中公
「小倉憲法ネット役員会」
- 1月29日(日) 11時 小倉駅前デッキ
「小倉憲法ネット定例宣伝」
- 1月30日(月) 18時30分 於 旧北中公
「渡辺治講演会成功させる会総会」
- 1月31日(火) 18時～於 旧北中公
「北九州の介護保険を考える学習会」
- 2月18日(土) 14時 パークサイドビル
会議室(9階)
「いま、北九州の市政を考える討論集会」

カンパのお願い
北九州憲法ネットの活動支援カンパ
をお願いします。
郵送料金などの活動費用に充てます。
同封の振込用紙をご利用ください。
ご協力よろしくお願いします。

飛翔！ 2006年北九州憲法ネットの展望

北九州憲法ネット代表世話人 三輪俊和

平和か戦争か。日本の基本的方向が決まるかもしれない2006年が明けた。改憲勢力が急襲する気配がある。総選挙で97%の議席を改憲勢力が占め、軍隊(自衛隊)が海外進出する改憲案として「新憲法草案」(自民党)、「憲法提言」(民主党)が出そろった。この通常国会で、「国民投票法」「教育基本法改定」が審議、決定されようとしている。

私たちは、暗雲を黙視するわけではない。「アメリカの戦争のために海外で人を殺して来い」と



三輪俊和代表世話人

言われたら、だれもが拒否するであろう。これが改憲の実態であるかぎり、いま憲法をまもる大切さは、すべての市民に訴えることができる。「二度と戦争はしない」「軍隊は持たない」というアジアの人々への約束をまもり、手をつなごう。

アメリカの戦争政策と世界市場支配に迫随する政府財界は、「構造改革」により国民を競争社会に投げ込む一方、アジア市場で経済利権を一人締めしよと企図している。改憲による「戦争への道」は、憲法が保障する人間らしい生活も奪い、地域社会をバラバラにする。だから今、憲法をまもる一点で、すべての人々と手をつなごう。北九州憲法ネットは、それぞれの個人が、憲法を守ろうという熱い思いを共有して活動する市民ネットワークとして広まっている。30以上の地域別、分野別の9条の会、憲法をまもる会がつくられてきた。

「憲法を学ぼう！憲法を広めよう！憲法を実現しよう！」とすべての市民によびかけ、100も200もの9条の会をつくっていきこう。憲法をまもり、平和で豊かな暮らしを求める北九州市民ネットワークの広がり、私たちの市長を選び、私たちの市政をつくっていく礎になるにちがいない。

憲法9条の輝きに確信をもち、世界とアジアの平和に貢献する流れをつくる私達の市民運動のこの1年の広がり、憲法の理想を実現する未来の展望がある。

憲法コラム

三丁目の夕日

映画「三丁目の夕日」を観た。昭和30年代の東京の下町の風景の中に、人々が生き、泣き、笑い、明日に向けて歩いていく。私の少年時代とつながって、その当時の風景、出来事など、本当に懐かしく思い出し、涙さえ出た。それにしても、あのような古い時代の自動車や街角、行きかう人の服装や街の様子を再現した熱意に敬服する▼私の小学生時代のお小遣いも、この映画のシーンにあるように、五円、や十円だった。学校の作文に「五円貰ったら、何買おう」という題で出して、先生にほめられた思い出が今も残っている。町の駄菓子屋の当りくじの入ったキャラメルを買うのが最高の幸せだった。当時、珍しかったテレビ、私の家にもテレビを買った。近所の人たちが座敷に上がりこみ、見に来ていたことも、この映画のシーンを観ながら思い出した。本当に、私にとってはうれしい映画であった▼確かに、あの頃の大人は、輝いて見えた。衣食住は、貧しかったが、生き生きしていた。子供たちは、腹はいつも減っていたが、遊びに夢中だった。青洩をすすりながら「ちゃんばら」ごっこで、陽が落ちるまで走り回っていた。生きることに希望があった▼映画の最後のシーンは、戦後復興の象徴でもある東京タワーにかかる夕日を観ながら、「あの美しい夕日が、50年後も見られたらいいな」という家族たちの会話する姿。そうなのだ。これからも50年後に、美しい夕日を家族たちが、うっとり眺められるように。そのためにも、平和を守り、憲法九条を守り、後世に残すのだ。それが私たちに与えられた課題だ。そんな気にさせる映画だった。

(太)

北九州憲法ネット賛同者を増やしましょう

同封の賛同署名用紙を利用してください。一人の増が改憲勢力への打撃となります。